区部・市部公立小中学校教員公募応募用紙

応募する地区名と地区番号	応募する枠	
【　町田市　】第 7 地域	特別支援学級・教室等枠は「障害種別」を記入	知 ・情固・情教・ 肢 言 ・ 聴 ・ 視 ・ 訪 ・ 病

所属校名	立　　学校	ふりがな 氏　名		職名	
		職員番号			
自宅住所		教員免許		性別	
	連絡先　（　　）	入都資格		年齢（年度末）	歳

職歴	都教職歴	学校名	地域番号	期間 年月日 ～ 年月日	実勤務年数
	新↓旧			～ 09.3.31	
				～	
				～	
				～	
				～	

過去5年間の校務分掌等の状況				
年度	担任	教科・専科	校務分掌	クラブ活動部活動
8	（　）学年 担任・副担任	（　　）		
7	（　）学年 担任・副担任	（　　）		
6	（　）学年 担任・副担任	（　　）		
5	（　）学年 担任・副担任	（　　）		
4	（　）学年 担任・副担任	（　　）		

健康の状況		既往症	無 ・ 有	病名

1　応募の動機について

2　あなたのもつ専門的知識や経験、生かしたい力について

※小学校の「小学校英語専科教員」枠と「小学校理科推進教員」枠に申し込む場合は、平成〇年度英語教育推進リーダーや平成〇年度東京都教育研究員（理科）など、実績や経験を具体的に明記する。

3　あなたのキャリアプランについて

年齢							自身の将来の姿 →
年度	8	9	10	11	12	13	
向上させたい資質能力（自由記述）							
選考受験予定や目指す職層など							

4　異種間異動等について　（希望等があれば下に入力する。）※異種間異動の希望は、校長へも伝えること。

育児休業予定（あれば入力する）
年　　月～　　月

所属長確認欄	上記の者が公募に応募することを確認しました。 令和8年　　月　　日 立　　学校　　校長
教育委員会等確認欄	令和8年　　月　　日 教育委員会

注1　年齢・経験年数等は、令和9年3月31日現在で入力する。　　注2　本人が入力し、所属長に提出する。

区部・市部公立小中学校教員公募応募用紙（暫定再任用教育職員用）

応募する地区名と地域番号	応募する枠	
【　町田市　】 第 7 地域	特別支援学級・教室等枠は「障害種別」を記入	知 ・情固・情教・ 肢 言 ・ 聴 ・ 視 ・ 訪 ・ 病

所属校名	立　　学校	ふりがな 氏　名		現職名	
		職員番号			
希望する職層	□主幹教諭　□主任教諭　□教諭　□主任養護教諭　□養護教諭 （現職以外を希望する理由：　　）				
自宅住所	連絡先　（　　）	教員免許		性別	
		入都資格		年齢（年度末）	歳

職歴	都教職歴 新→旧	学校名	地域番号	期間 年月日 ～ 年月日	実勤務年数	過去5年間の校務分掌等の状況 年度	担任	教科・専科	校務分掌	クラブ活動 部活動
				～ 09.3.31		8	（　）学年 担任・副担任	（　）		
				～		7	（　）学年 担任・副担任	（　）		
				～		6	（　）学年 担任・副担任	（　）		
				～		5	（　）学年 担任・副担任	（　）		
				～		4	（　）学年 担任・副担任	（　）		

健康の状況		既往症	無 ・ 有	病名

1　応募の動機について

2　あなたのもつ専門的知識や経験、生かしたい力について

※小学校の「小学校英語専科教員」枠と「小学校理科推進教員」枠に申し込む場合は、平成○年度英語教育推進リーダーや平成○年度東京都教育研究員（理科）など、実績や経験を具体的に明記する。

3　異種間異動等について　（希望等があれば下に入力する。）※異種間異動の希望は、校長へも伝えること。

育児休業予定（あれば入力する）
年　　月～　　月

所属長確認欄	上記の者が公募に応募することを確認しました。 令和8年　　月　　日 立　　学校　　校長
教育委員会等確認欄	令和8年　　月　　日 教育委員会

注1　年齢・経験年数等は、令和9年3月31日現在で入力する。　　注2　本人が入力し、所属長に提出する。

区部・市部公立小中学校教員公募応募用紙

応募する地区名と地域番号	応募する枠	
【　　】第　　地域	特別支援学級・教室等枠は「障害種別」を記入	知 ・ 情固 ・ 情教 ・ 肢 言 ・ 聴 ・ 視 ・ 訪 ・ 病

応募する枠には、以下の中から**どれか1つを必ず記入する。**
・小学校全科等　・小学校英語専科
・小学校理科推進　・義務教育学校
・中学校各教科等
・特別支援学級・教室等
・自立支援施設　・区立特別支援学校
・健康学園

希望する地区名と地域番号を入力する。

希望種別に〇をする。(複数可)

所属校名	立　　学校	ふりがな 氏　名		職名	
		職員番号			
自宅住所	連絡先　(　　)	教員免許		性別	
		入都資格		年齢(年度末)	歳

義務教育学校教員枠及び小学校英語専科教員枠は応募要件を満たしているか確認し入力する。

職歴	都教職歴 新↓旧	学校名	地域番号	期間 年月日 ～ 年月日	実勤務年数
				～ 09.3.31	
				～	
				～	
				～	
				～	

休職期間等を**除いた**勤務年数を入力する。

過去5年間の校務分掌等の状況				
年度	担任	教科・専科	校務分掌	クラブ活動部活動
8	(　)学年 担任・副担任	特別支援教室	研究推進部	英語活動
7	(　)学年 担任・副担任	特別支援教室	研究推進部	英語活動
6	(　)学年 担任・副担任	特別支援教室	生活指導部	室内運動
5	(　)学年 担任・副担任	情緒通級指導学級	特別活動部	バドミントン
4	(3)学年 担任・副担任	全科	生活指導部	料理

健康の状況		既往症	無 ・ 有	病名

1　応募の動機について

2　あなたのもつ専門的知識や経験、生かしたい力について

※小学校の「小学校英語専科教員」枠と「小学校理科推進教員」枠に申し込む場合は、平成〇年度英語教育推進リーダーや平成〇年度東京都教育研究員(理科)など、実績や経験を具体的に明記する。

「東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標(令和5年2月改定)」や例に示された内容などから自身のキャリアに合わせて入力する。

3　あなたのキャリアプランについて

年齢	〇歳	〇歳	〇歳	〇歳	〇歳	〇歳	自身の将来の姿
年度	8	9	10	11	12	13	
向上させたい資質能力(自由記述)	主任教諭選考を受験し、合格する。公募に応募し英語専科として異動する。	英語専科教員としての専門性を高めるため東京教師道場で研鑽を積む。	教師道場2年目。修了後は研究員になる。	東京都教育研究員となり、英語教育の専門性を追求する。	東京都教育研究員としての成果を地区に還元する。	東京都教育開発委員となり、より実際的で効果的な英語教材と授業を提案する。	将来は東京都の英語教育の発展及び推進に力を尽くしたい。
選考受験予定や目指す職層など	主任教諭選考	主任教諭	4級職選考	主幹教諭	B選考	任用審査	副校長

4　異種間異動等について　(希望等があれば下に入力する。)※異種間異動の希望は、校長へも伝えること。

記入例:　小(音)→中(音)　・　中特(知)→中(国)　・　小(全)→区立特支
・　小特(情)→小(全)　・中(国)→中(日)　・中(英)→中(夜)

育児休業予定(あれば入力する)
年　　月～　　月

次年度育児休業の予定がある場合のみ、期間を問わず入力する。

所属長確認欄	上記の者が公募に応募することを確認しました。 令和8年　　月　　日
教育委員会等確認欄	令和8年　　月　　日 教育委員会

異校種異動を希望する場合は、入都資格等を確認の上、この欄に**必ず記入する。**

所属長の確認欄と教育委員会の確認欄は必ず記入する。

注1　年齢・経験年数等は、令和9年3月31日現在で入力する。
注2　本人が入力し、所属長に提出する。